

山行に行ったら発行

しろうま ニュース

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会



vol. **16**
2016.2



12月山行

2015年12月**6**日(日)
山梨

高川山

(標高 976m)

幹事 寺嶋、岩尾、道下

11月に予定をしていた高川山でしたがあいにくの雨で中止となり12月幹事のご好意で繰り下げさせて頂くこととなりました。

当日のお天気は快晴で雨女2人のパワーより晴れ男のパワー勝ちと言ったところでしょうか…(笑)

新宿集合と高尾集合(途中合流者も含む)と分かれてましたが大きな混乱もなくス



近くの山々は紅葉してます



男坂を登ります



昼食風景その1



昼食風景その2

ムーズに合流出来て無事初狩駅に到着。行き先頭を任せられ責任重大?!と思いつつながらゆっくり出発。駅からのどかな舗装道路をしばらく歩くと山道に入ります。

始めのうちは緩やかだった傾斜も徐々に急になりさすが男坂という感じ。後ろを振り返ると他の班の姿が見えずしばらく休憩タイムを取らせて貰いました。正直ホッと一息、と言ったところ。息が上がるのには自分の身体の重さかな?などと反省しつつ...

何班か見え始めて来たので歩き始めると男坂と女坂の分岐点に到着。「今までは男坂じゃなかったの?」との声が聞かれ私自身もピークは越えたものと思っていたので正直驚きと戸惑い...まだまだかな?と思いつつ登って行く。笹の雑木林を抜けて尾根歩きを続けて行くと急坂になりラストスパート。

岩場を抜けて登り切ると360度遮るものがない絶景! 目の前には富士山の堂々たる姿。さすが秀峰富嶽十二景の山でした。食後にはあちは丹沢、向こう側は秩父かな?な

どと山の位置を確認したり各々景色を楽しめました。

参加者28人と大所帯の山行となりましたが事故もなくみんな無事に下山出来て今年最後の締めくくりが良い形で終わらせられたかなと思います。(岩尾)

11月に雨のため流れてしまった高川山山行。12月幹事のご好意でそのまま山行計画をスライドさせてもらい無事天候にも恵まれ、決行しました。27人参加、実質的な要サポートは2名。行きの中で幹事と参加者の方々と検討

した結果、当初の行きで女坂を使い、帰りを男坂という計画を変更し、4つの班に分かれて初狩駅から10時過ぎ山行を開始しました。

駅から登山口までは30分、沢コースとの分岐を経て男坂・女坂の看板から男坂を選択。下見時は女坂を上ったので気が付きませんでした。男坂を登りながら右後方を振り返ると早くも素晴らしい眺望が望めました。(行きの男坂利用を薦めてくれた〇さんに感謝!)

山頂が近くなるにつれ傾斜もきつくなり、足場の安定しない急こう配をサポート

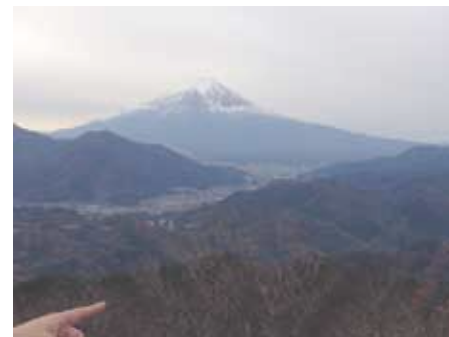
植林された杉林の道を登ります



頂上にて記念撮影



富士山も良く見えます



下りは女坂





最後の急坂を下ります

ト、要サポート、両者が息を合わせて登っていきます。

残念ながら足の具合が悪く、ギリギリまで山行参加を希望していた○さんのキャンセルのため、サポート部隊だけになった先頭グループとは時差到着となりましたが、12時20分には無事全グループ山頂到着。

360度の眺望で、富士山もくっきり。他に登山客も大勢で所狭しとそれぞれ思い思いの場所で昼食、となりました。

お昼休憩と記念写真を済ませ、13時30分に下山開始です。帰りは少し大回りにはなりますが、比較的傾斜の緩やかな女坂を下り、途中道幅の狭い谷側の切れている箇所もありましたが、どの班も

参加人数 26名 (要サポート3名)
 新宿駅発 7:51 → 初狩駅 9:32 着 →
 9:55 登山開始 → 駐車場トイレ 10:30
 → 男坂・女坂分岐点 11:20 → 男坂・女坂合流地点 12:10 → 高川山山頂 12:30
 (昼食) 13:30 山頂発 14:40 男坂・女坂分岐点 15:45 → 初狩駅着



お疲れ様の挨拶をして解散

安全に大きなトラブルもなく下山できました。

新しいメンバーも増え、また20年ぶりの参加という復活メンバーもありと、今後が楽しみなしろまの会、今年も飛躍と安定の年になりますように。(T)



かつて頂上付近で登山客を出迎えていたビッキーの写真



懐かしの山行シリーズその2
伊豆ヶ岳 (1988年)



1988/11/13 (日) 晴れ (851m)



前回、このコーナーで紹介した写真を山行の「一番最初の写真」と書いてしまいましたが訂正します。一番最初はこっちのようです(見誤りましたごめんなさい)。

この写真に釘付けになりました。急坂を男たちが担ぎ上げている…。歩けない人は特製のイスのようなものに乗ってピース! またはちょっと緊張気味の笑顔。行ってみたいという気持ちはいつだって誰だってある! その人と一緒に行こうと考えて実行する健常者がいる! 本質的なところは変わってないですね。

1988年から続く25年以上の経験が、あの大きなイスから現在のキャリアへと進化させ、背負う者背負われる者の負担軽減へとつながって行ったのでしょうか。歴史を感じます。

京都

あ、そうだ…

行って来たんだ



いつでも行けるいつかは行こう、そのうち行きたいと思ってましたが、これからの人生、予期せぬ出来事で永遠に行けなくなることもあり得ると、思い立ってこんな真冬の最中に京都に行くことにしました。修学旅行以来です。

京都を訪れて驚いたのはバリアフリーのレベルが高いこと。さすが観光都市世界ランキング首位。移動については、京都駅にさえ出せばほぼ全ての目的地にバスで行け、それが全てノンステップなので、液バッテリータイプの折り畳めない電動車椅子でもどこでも単独移動が可能です。

バス停からの移動距離が長いとバッテリーのもちが心配されますが、そこが不安な人は福祉タクシーも利用できます（主観ですがバスの方が乗り降りが楽な気がする。安し）。

さて、今回は新幹線とホテルをセットにしたフリープラン3泊4日のツアーを

買い、中2日だけ自分にあった旅程を組むことにしました。1日目はゆっくり昼頃出発して京都の宿に行くだけ、4日目もゆっくりでて家に帰るだけの行程。朝早出で夜遅い帰路、観光ぎっちりだと身体が疲れて体調を崩すので、そのくらいがちょうどいいのです。

観光一日目はおなじみの清水寺。ホテルを9時40分頃出て10時ちょい過ぎのバスに乗りました。運転手さんが床を下げスロープをかけて乗り込みます。30分ほどで最寄りバス停に到着。そこ



清水寺では車イス用ナビゲーションがサイン表示されている



間違っって茶わん坂を登ってしまった（写真左）。ここは勾配が急すぎる。人は多いが清水寺参道の方が緩やかでにぎやか。どちらからアクセスしても車イスは迂回ルートに誘導され、坂を登り詰ると仁王門が見えて来る。仁王門をくぐりたいのはやまやまだが、すべてが階段（写真上中、上右）。左下写真のように境内外周の別ルートに従って本堂に入る。このルート、おそらく関係者や緊急車両用の車道を整備したものだろう。観光客の喧嘩から離れた静かな道で、それはそれですてきなたすまいである。

から坂を登りますが、これは手動車いすだと介助者が相当苦勞すると思われる（障害手帳で許可を取り、清水の舞台すぐそばまで車で入ることも可能みたいですが、これだと坂の道々にあるお店をのぞいたり…といった道草ができず、つまらないかも）。

いずれにせよ他のお寺もまわるでしょうから、そうすると、砂利や石畳が多い



音羽の滝

向かって左から「学問成就の水」「恋愛成就の水」「延命長寿の水」。オフシーズンだというのに外国人観光客でごった返っていて、どれ飲もうかなんて言っらんない。あいたところを飲むべし！

ので、手動の人は電動をレンタルして行くことをおすすめします。その方が同行者が疲れません。

清水寺は国土交通省の「バリアフリー化推進功勞者表彰」を寺社で初めて受賞したそうで、境内のほぼすべて車イスで観光できます。

ただ音羽の滝は階段なので、飲みたい人はペットボトルに詰めてある水を買うか、同行者に水を汲んきてもらおうとよいでしょう。霊水だそうです。

次は八坂の塔、八坂庚申堂を経て建仁寺へと、ムダのない行程を計画していましたが、清水寺→八坂の塔間の最短ルート上に（産念坂だか二年坂だか）階段があったので遠回りするはめになり先に建仁寺に。ここまで30～40分くらい。

建仁寺以降もそのバリアフリーっぷり、または庭や襖絵、天井画、そして仏像といった芸術に感動するわけですが、続きは次回に・・・（若杉）

i n f o r m a t i o n

■ 2月山行のお知らせ：日程：2月21日（日）行先：大高取山～越生梅林（梅祭り）
集合：7時20分池袋駅（東武東上線南改札口1階の宝くじ売り場前）
参考運賃（池袋～越生片道720円、越生梅林入場料300円、梅林から越生駅までのバス190円）

行き：7時30分池袋発→8時08分坂戸8時13分→8時35分越生着（どの駅から集合しても進行方向の一番前に乗って下さい。また坂戸での乗り換えはホームが変わり5分しかありません。）

コース概要：越生駅～無名戦士の墓～大高取山～越生梅林（標準タイム時間2時間）。越生梅林で昼食を摂り、14時15分のバスに乗り越生駅へ到着（越生梅林では梅祭りが始まっており、梅林内と梅林からのバスの中が混むと予想されます。）

帰り：14時39分越生発→15時52分池袋着

持ち物：昼食、水分、雨具、ストック等、シート（梅林でも、毎年食事やお酒が定価より高く販売されています。お酒飲みたい方は梅林でのみ可とさせていただきます。梅林ではお酒は高いので、事前に購入しているとお得です。）※障害手帳ある方は、持参して下さい。

■たいへんおそくなりました。昨年12月の高川山山行の様子をお送りします。ピッキーの写真を見てグッときました。自分の記憶をねつ造していなければ、たしかどこかの山の頂上に犬がいたような気がしたなど・・・うろ覚えですが。どうなったのかなあ。寒い冬や雨風強い日はどうしていたのでしょうかね。

■私事で恐縮ですがやっとスマホデビューしました。と言いたいところですが、iPodなるモバイル端末を持ち歩くことに。本当はiPhoneが欲しかったのですが高くてあきらめました。でもiPodも意外に重宝で、もともとモバイルルータは持ってたのでメールやFB、LINEにマップ（初めての場所ではナビゲーション）、カメラに音楽と外では便利に使っています。電話は今まで通りの携帯だから3つもって歩くのが面倒ですが、全部小さいから許す。というわけで原稿も写真もその他の情報も watarineko@icloud.com までいつでもお待ちしています！いつでもどなたでもお送りください。特に幹事さん、山行後はなんか送って下さいね。どんだけのボリュームでも全文掲載で作ります。重たい写真もこのアドレスへ！これからもどうぞよろしく願いいたします（若杉）

しろうまニュース vol.16

2016年2月10日発行

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会 しろうまの会

ご連絡・お問い合わせ（お気軽にお問い合わせください）：shirouma@sd5.so-net.ne.jp

ホームページ：http://www.shirouma.net

facebook：https://ja-jp.facebook.com/shirouma4620